

山本前知事の辞任を惜しむ

一日も早いご快癒を

弥生会の同志、家族のような存在



私たち弥生会の同志とも言える山本繁太郎(やまもと・しげたろう)さんが1月9日、ご自身の健康を理由に、山口県議会議長に知事辞職願を提出され、1月14日に開かれた県議会臨時議会にて辞職が同意されました。

振り返れば、弥生会の設立総会を観光ホテルで開いた際、東京から駆け付けてくださったのが、山本さんでした。山本さんは柳井市出身です。柳井高校から東京大学法学部卒業後、建設省(国土交通省)に入省され、内閣府等を経て、麻生内閣のもとで務めた内閣官房地域活性化統合事務局長を退官されたばかりでした。私どもの思いや意見に真摯に耳を傾けられ、この時から

奥様も弥生会に入会され、私どもにとりまして、まさに同志、家族のような思いがしております。県東部、そして岩国市を熟知されている山本さんは国交省行政に精通したスペシャリストです。知事として、その手腕と能力をフルに発揮されました。特に国交省関係の事業が山積していた岩国市にとっては願ってもない人材であり、福田市長と共に二人三脚で行政を進められ、息の合ったお二人の連携は本当に頼もしく感じておりましただけに任期途中の辞任は、まことに残念なこ

とであり、その心中を察しますと、胸が痛くなるばかりですが、今は重責から解放されることで一日も早くご快癒され、ふたたび、ふるさとのために活躍される日が来ることを願うばかりです。山本さんは平成20年の衆院山口2区補欠選挙に自民公認、公明党推薦で出馬されました。この補選は当時、2区選出衆院議員だった福田良彦市長が、市民の大きな希望と期待を背負って市長選に立候補するにあたり、議員辞職したことに伴うものです。いわば、岩国市の救済と大変革を求めるつねりの中で山本さんに白羽の矢が立ったのでした。もちろん、私たちも全力で支援しましたが、自民党への風当たりが強い当時の情勢の中では当選は果たせませんでした。山本さんは引き続き2区の自民党議席奪還を目指して政治活動を続けられ、同年8月の衆院選も、票差を縮めながら涙を飲む結果となりました。

平成24年、現職の二井閣成さんの引退に伴い、自民党山口県連の出馬要請に基づいて山本さんは自民党県連・公明党県連の推薦で無所属で知事選に出馬され、見事、当選されたのでした。当選後は、臨海部産業の強化や高度な産業人材育成、農林水産業の再生等を掲げ、県政をぐいぐいと推進されました。山本さんの政策の中には「瀬戸内産業ルネッサンス構想」として国際バルク戦略港湾(宇部港および徳山下松港)の整備や、岩国港臨港道路をはじめとする産業用道路網の構築など、港湾を重視したインフラ整備の推進によって既存産業を活性化させた上で新産業の創出を図り、平成28年までに企業誘致200社以上、新規雇用2万人以上の達成を目指すというものが含まれていました。さらに、産業振興を担う「産業戦略本部」の設置を打ち出し、年間宿泊観光客数400万人構想にも多くの県民が期待を寄せていました。山本さんの辞職に福田良彦市長は、「これまでするいろいろな課題の解決に取り組んできた仲間という同志でした。志半ばで辞任される知事の心中を察すると大変胸が痛みます。基地問題について連携を取りながら、また指導を受けながら解決に向けて尽力いただき、リーダーシップを発揮していただきました。知事にはリーダーシップをさらに発揮していただきたいと思っていただけに残念です」と胸中の無念さを述べられ、「これまでの経験、人脈など大変素晴らしい人であり、山本知事からいろいろご指導いただきました。そうした中、健康理由で志半ばで辞任することは知事自身も大変悔しいと思われているでしょう」と話しています。

共に良さを住み

誇れるまちづくりを

岩国の明るい未来を創る会長 原田俊一

弥生会の皆様ご清祥にて新しい年をお迎のことと拝察申しあげます。

私は、住んでいる室の木町4丁目の高台からの景色が大きく変わってきたことを喜びながら新春を迎えました。今津川が瀬戸海へ注ぐ河口の近くには岩国錦帯橋空港が、そして南方方向の愛宕山新造成地には、国立病院機構岩国センター(国病)のビルが聳え、新しい遠景が誕生したからです。

私は職務の関係で世界各地を訪れました。岩国ほど山紫水明、蒼空碧海、風光明媚、気候温暖な自



然に恵まれ、歴史・文化の豊かなまちはないと思っていました。そして、終の住処を岩国と決め、新居を建て、今年で30年を迎えます。変貌しつつある遠景を眺める喜びを毎朝味わっています。睦月10日、東京から岩国錦帯橋空港に着陸した機窓より基地内を

垣間見ますと、なんと40本以上の大型クレーンが稼働しており、すごい工事が行われている様子でした。岩国市はいたる処で進化しつつあります。現在の岩国市は全国的にどのような順位にあるのか、調べてみました。(1)日本経済新聞社「全国有料都市ランキングをサービス度・革新度で測る自治体の経営度」によると、(全国718区・市のうち)行政サービス度402位、行政改革度161位(山口県内では最上位)です。(2)東洋経済新報社(都市データ・バック2013版)によると(住み良さ)の評価は岩国市は629位(812都市のうち)ちなみに1位は武蔵野市、2位は浦安市(千葉)、3位は長久手市(愛知)小野田市99位、山口市275位)

です。岩国市の順位が低いのは財政健全度が47.9位、年少人口増減率マイナス8.4%、快適さ638位などが影響しています。私たちは、福田良彦市長の誕生を期して、ちょうど6年前に岩国の明るい未来を創る」という共通の目的のもとに運動し、実現しました。その後、福田市長の公約された明るいまち創りの夢が着実に実現しつつあります。その実績は前述の資料には未だ反映されていません。

しかし、福田市政が着実に実行され、地域が有する資源を有機的に機能させれば、他の都市にない住み良さが構築出来て、順位もグーンと上がることを請け合いです。そのチャンスが到来していると思えます。

新しい知事選は2月23日投票となりますが、山本さんの掲げた県政を、しっかりと継承できる方が望ましいと私たちは思っております。